

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】 令和 7 年 6 月 27 日

評価対象事業		評価者	市街地整備課担当課長 山村 直人	
まち-02	古都中心市街地整備事業	☒ 自治事務	主管課	市街地整備課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	5-(2) 市街地整備	施策の方針	5-(2)-①市街地整備の推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	豊かな歴史的遺産と良好な自然環境を活かし、市民・来訪者が快適に共存できる風格と活力ある古都鎌倉の顔を再生・創造するため。
効果	鎌倉駅周辺地域を中心とする古都中心市街地のまちづくりについて、目標や課題を共有し、古都鎌倉の玄関口として多くの市民・来訪者が快適に共存できる魅力的な空間の創出に向けた検討を進める。

2 令和6年(2024年)度を実施した事業の概要

・「古都中心市街地まちづくり構想」などに基づき、鎌倉駅周辺のまちづくりに関して指導や助言等を行った。
・鎌倉駅周辺地区の今後のまちづくりについて、関係者との意見交換を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	古都中心市街地整備事業		-	- / -	-	-	-
				0 / 68		89	
02				/			
				/			
03				/			
				/			
04				/			
				/			
05				/			
				/			
06				/			
				/			
07				/			
				/			
08				/			
				/			
09				/			
				/			
10				/			
				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	0 / 68		89	
		事業費の合計(千円)		0 / 68		89	
		人件費(千円)		10,225		11,098	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.5	1.1	1.3	1.3	1.3	1.3
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	古都中心市街地整備事業	指標設定しない (本事業は、古都中心市街地まちづくり構想に基づき開発事業に対する指導や助言等を行っている。また、鎌倉駅西口周辺については、周辺の土地の動向や権利者の状況を踏まえ、今後のまちづくりの検討を進めることから、指標の設定に馴染まない。)	鎌倉駅周辺地域を中心とする古都中心市街地まちづくり構想に基づき、地区内の開発事業に対して「まちづくりの方針」への誘導を図ることは、鎌倉駅周辺のまちづくりに寄与していることから、構成する事業としては妥当である。	鎌倉駅西口周辺まちづくり基本計画に基づく鎌倉駅西口周辺整備については、継続的に権利者調整を行ってきたが、一部権利者とは合意への見通しが立っていない。権利者の状況及び周辺の環境の変化を勘案し、事業手法を研究していく必要がある。
02	0			
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☒ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
鎌倉駅西口周辺まちづくり基本計画に基づく鎌倉駅西口周辺整備については、継続的に権利者調整を行ってきたが、一部権利者とは合意への見通しが立っていない。権利者の状況及び周辺の環境の変化を勘案し、事業手法を研究していく必要がある。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--